

令和6年度第4回 羽村市立武蔵野小学校コミュニティ・スクール委員会会議録

1 日時	令和7年1月18日(土曜日)午前11時50分
2 場所	羽村市立武蔵野小学校 会議室
3 出席者	<p>会長 大橋 徳久(西東京リサイクルセンター 取締役) 校長 府金 博之</p> <p>副会長 山田 竜也(羽村市武蔵野小学校 PTA 前会長) 副校長 川上 功一</p> <p>委員 松崎 博満(エコネットはむら 会長)</p> <p>山本 一代(チューリップ保育園 理事長)</p> <p>推進委員 松原 邦宜(株)ミタカロジスティクス 取締役) (敬称略)</p>
4 欠席者	なし
5 議題	<p>(1) 学校アンケート結果、令和7年度学校経営について</p> <p>(2) 人財バンクについて</p>
6 傍聴者	無し
7 配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度 武蔵野小学校アンケート 保護者会回答の結果(資料A)</li> <li>・令和7年度 羽村市立武蔵野小学校 学校経営方針&lt;グランドデザイン案&gt;(資料B)</li> <li>・令和7年度 教育課程について(届)(資料C)</li> <li>・「武蔵野小人財バンク登録に向けての募集」についての進捗状況の確認(資料D)</li> </ul>
8 会議の内容	<p>(1) 学校アンケート結果からの課題と令和7年度学校経営について</p> <p>「小中一貫」…義務教育9年間のスパンで児童生徒を育成する意識の共有化</p> <p>「教育課題」…児童が意欲的に学び続ける授業改善</p> <p>「家庭学習」…家庭学習の定着化に向けての取り組み</p> <p>目指す学校像「笑顔あふれる学校～子供ど真ん中～」</p> <p>◎三者(子供・保護者、地域の方々・教職員)の笑顔を大切にする</p> <p>☆学校長から出された学校運営の基本方針について、武蔵野小コミュニティ・スクール委員会として方向性・内容等承認した。</p> <p>☆今年度同様、三者(子供・保護者、地域の方々・教職員)の笑顔を大切にする学校づくりに向けて、連携・一体化を図る点を確認した。</p> <p>(2) 人財バンクについて</p> <p>(2)の内容については以下の通り</p>

大切なポイント [9 か月間の中で、委員会として話し合いを進めてきたことを確認し、実践すべき方向を明確にする。]

道徳授業地区公開講座における道徳授業に関する意見交換会（武蔵野小コミュニティ・スクール委員は全員出席）での一場面

武蔵野小コミュニティ・スクール委員会の活動方針について、出席者に対し、少し話をする時間をいただいた。

思いやりがあり、やる気のある、健全な子供たちを、大人の力を結集して育てていきたいと考えています。

今まで以上に、子供を中心において、保護者・地域・教職員が強固に連携をとれるようにしたいと思います！



大勢の人の力を結集できる集団が必要だと感じるので、武蔵野小コミュニティ部隊（仮）を組織したいと考えました。その呼びかけをするチラシを作成し、保護者・地域に説明・配布させてもらったところです。

チラシを見て、私は登録カードを提出しました。

様々な子供と接する自分の子供に対し、また他の子供に対して、子供の心に届くよう投げかける言葉や接し方は難しいと感じます。



子供たちが、皆で安全にふれあえる（遊んだりする）場所があると良いと感じます。



大切なポイント [保護者から出た貴重な考え・意見を、可能な限り実現に近づけていく意識をしっかりともって、活動の方向性を明確にしていく。]

子供への接し方は、今の世間の風潮から考えても簡単なことではないと思う。しかし、数多くの機会を設けて、子供たちとの関係づくりがしっかりできれば、子供たちの心に響く投げかけは確実に出来ると思う。



子供たちが、皆で安全にふれあえる（遊んだりする）場所づくりの必要性についての意見は、実現に向け大切にしていきたい。

武蔵野小コミュニティ部隊（仮）の組織づくりを進めていくためにも、大勢の人の協力が必要だと感じる。具体的な活動を通して、呼びかけを続けていくという方向を、今後も大切にしたい。

その場所が武蔵野小学校自体であると、子供たちや保護者は安心感があると思う。

まず、3学期に実施予定の1年生「昔あそび」には、たくさんの地域の方に参加・協力してもらえよう、町内会長・自治会長を通じてお願いをする。内容的にも地域の方が喜んで参加できそうなので、コミュニティ・スクール委員会としてしっかりとお願いをしていく。（資料E）

現在、音楽専科が中心となって指導を続けている「吹奏楽部」の活動が、やむを得ない事情で、一定期間指導困難な状況となりました。子供たちが困ってしまう状態にはしたくないと思っています。



1年生「昔あそび」に地域の方々が参加している状態を、広報紙を作成して、広く周知していきたい。今後、さらに協力してもらえようように、呼びかけたい。

例えば、武蔵野小学校で、土曜日等を活用した遊びの場所づくりについて、可能かどうかを模索していこう。

「吹奏楽部」の活動継続に向けて、至急、指導協力人財を確保する。



学校として、新年度実践していく教育活動に、保護者・地域の力が大きく必要と考えられる件については、早めに協力体制を確立していこう。